

令和3年12月1日

薬事・食品衛生審議会

食品衛生分科会長 村田 勝敬 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会

農薬・動物用医薬品部会長 穂山 浩

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会

農薬・動物用医薬品部会報告について

令和3年7月1日付け厚生労働省発生食0701第4号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第13条第1項の規定に基づくペンディメタリンに係る食品中の農薬の残留基準の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

ペンディメタリン

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼及び畜産物への基準値設定依頼が農林水産省からなされたこと並びに関連企業から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針について」に基づく残留基準の設定要請がなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：ペンディメタリン[Pendimethalin (ISO)]

(2) 用途：除草剂

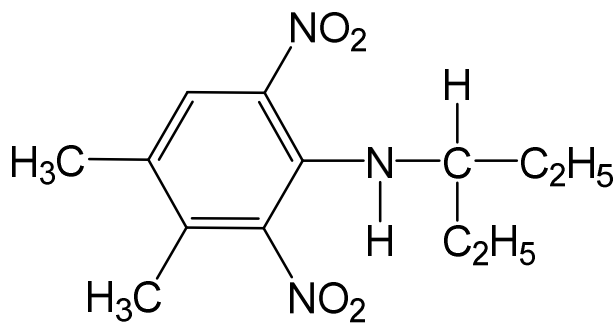
ジニトロアニリン系除草剤である。雑草の発芽又は発生時に幼根又は幼芽部に作用し、生長点の細胞分裂及び細胞伸長を阻害することにより、生長を抑制し枯死させると考えられている。

(3) 化学名及びCAS番号

3,4-Dimethyl-2,6-dinitro-*N*-(pentan-3-yl)aniline (IUPAC)

Benzenamine, *N*-(1-ethylpropyl)-3,4-dimethyl-2,6-dinitro-
(CAS : No. 40487-42-1)

(4) 構造式及び物性



分子式	C ₁₃ H ₁₉ N ₃ O ₄
分子量	281.31
水溶解度	2.3 × 10 ⁻⁴ g/L (20℃)
分配系数	log ₁₀ Pow = 5.18 (25℃)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

また、すいか及びメロン類果実に係る残留基準の設定についてインポートトレランス申請がなされている。

(1) 国内での使用方法

① 30.0%ペンディメタリン乳剤

作物名	適用	適用 土壌	使用量		使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	適用地帯	ベンデ [®] イメタリンを含む 農薬の総 使用回数		
			薬量	希釈水量							
はくさい	一年生 雑草	壤土～ 埴土	200～300 mL/10 a	70～150 L/10 a	定植前 (雑草発生前)	1回	全面土壌 散布	全域	1回		
キャベツ レタス 非結球レタス		全土壌	200～400 mL/10 a		は種後出芽前 (雑草発生前)						
にんじん					は種後～本葉2葉期 (雑草発生前)			北海道			
たまねぎ (直播栽培)			70～100 L/10 a	定植後 (雑草発生前) ただし、 収穫60日前まで							
たまねぎ (移植栽培)				300～500 mL/10 a			定植前 (雑草発生前)	畦間土壌 散布		全域	
葉たまねぎ							定植後 (雑草発生前)				
ねぎ			200～300 mL/10 a	100 L/10 a	定植後 (雑草発生前) ただし、 定植10日後まで 収穫30日前まで (雑草発生前)						
にら											
さといも			200～400 mL/10 a	70～100 L/10 a	植付後萌芽前 (雑草発生前)		全面土壌 散布	全域	2回以内 (土寄せ 後の処理 は1回以 内)		
ばれいしょ			200～300 mL/10 a						100 L/10 a	1回	
やまのいも			200～400 mL/10 a								

① 30.0%ペンディメタリン乳剤（つづき）

作物名	適用	適用 土壌	使用量		使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	適用地帯	ペンディメ タリンを含む 農薬の総 使用回数
			薬量	希釈水量					
にんにく	一年生 雑草	全土壌		70～150 L/10 a	植付前 (マルチ前)	1回	全面土壌 散布	全域	1回
		壤土～ 埴土	300～500 mL/10 a	70～100 L/10 a	植付後 (雑草発生前) ただし、 収穫60日前まで				
葉にんにく (マルチ栽 培)		全土壌	400～500 mL/10 a	70～150 L/10 a	植付前 (マルチ前)				
葉にんにく (マルチ栽培 を除く)					植付前				
アスパラガス			200～400 mL/10 a		萌芽前 (雑草発生前)				
こんにゃく			200～300 mL/10 a	70～100 L/10 a	植付後又は培土後 (雑草発生前) ただし、 植付30日後まで			北海道、 九州を 除く全域	
らっかせい				70～150 L/10 a	は種後出芽前 (雑草発生前)			関東以西	
とうもろこし		200～400 mL/10 a	全域						
陸稲			北海道を 除く全域						
麦類 (小麦を除 く)		砂壤土 ～埴土			は種後 (雑草発生前) ～小麦2葉期 (イネ科雑草1葉 期まで)		雑草茎葉 散布又は 全面土壌 散布	全域	
小麦									
りんご なし		全土壌		70～100 L/10 a	雑草発生前 ただし、 収穫20日前まで	2回 以内	全面土壌 散布	2回以内	
ぶどう					新葉萌芽前まで (春期雑草発 生前)				
食用ぎく					200～400 mL/10 a	70～150 L/10 a	定植前 (雑草発生前)		1回

① 30.0%ペンディメタリン乳剤（つづき）

作物名	適用	適用 土壌	使用量		使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	適用地帯	ペンディメ タリンを含む 農薬の総 使用回数	
			薬量	希釈水量						
ソルガム	一年 生 雑 草	砂壤土 ～埴土	300 mL/10 a	70～100 L/10 a	ソルガム3葉期 (雑草発生前 ～発生始期)	1回	雑草茎葉 散布又は 全面土壌 散布	全域	1回	
			300～400 mL/10 a	70～150 L/10	は種後出芽前 (雑草発生前)		全面土壌 散布			
カリフラワー		全土壌	200～400 mL/10 a		定植前 (雑草発生前)					畦間土壌 散布
かぼちゃ					定植後 (雑草発生前) ただし、 収穫60日前まで					
そば					生育期 (雑草発生前) ただし、 収穫21日前まで					

作物名	適用	使用量		使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ペンディメ タリンを含む 農薬の総 使用回数
		薬量	希釈水量				
陸稲	一年生 雑草	200～400 mL/10 a	70～150 L/10 a	は種後出芽前 (雑草発生前)	1回	全面土壌 散布	1回
麦類 (小麦を除く)							
小麦		300～500 mL/10 a	70～100 L/10 a	は種後 (雑草発生前) ～小麦2葉期 (イネ科雑草1葉期まで) ソルガム3葉期 (雑草発生前 ～発生始期)		雑草茎葉 散布又は 全面土壌 散布	
ソルガム		300 mL/10 a					
		300～400 mL/10 a	70～150 L/10 a	は種後出芽前 (雑草発生前)		全面土壌 散布	
とうもろこし							
ヤングコーン		200～400 mL/10 a	100 L/10 a	挿苗10日後まで (雑草発生前)		畦間土壌 散布	
かんしょ							

① 30.0%ペンディメタリン乳剤（つづき）

作物名	適用	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
さといも	一年生雑草	200～400 mL/10 a	70～100 L/10 a	植付後萌芽前 (雑草発生前)	1回	全面土壌 散布	2回以内 (土寄せ後の処理は1回以内)
			100 L/10 a	土寄せ後 (雑草発生前) ただし、 収穫60日前まで			
ばれいしょ		200～300 mL/10 a	70～100 L/10 a	植付後萌芽前 (雑草発生前)			1回
やまのいも		200～400 mL/10 a	100 L/10 a				
こんにゃく		200～300 mL/10 a	70～100 L/10 a	植付後又は培土後 (雑草発生前) ただし、 植付30日後まで			
はくさい			70～150 L/10 a	定植前 (雑草発生前)			
キャベツ カリフラワー レタス 非結球レタス		200～400 mL/10 a					
うど		400 mL/10				定植後萌芽前 (根株養成圃) (雑草発生前)	畦間土壌 散布
			100 L/10 a	生育期 (根株養成圃) (雑草発生前) ただし、 収穫60日前まで			
たまねぎ (直播栽培)		200～400 mL/10 a	70～100 L/10 a	は種後～本葉2葉期 (雑草発生前)		全面土壌 散布	1回
たまねぎ (移植栽培)		300～500 mL/10 a	70～150 L/10 a	定植前 (雑草発生前)			
				定植後 (雑草発生前) ただし、 収穫30日前まで			
葉たまねぎ				定植前 (雑草発生前)			
らっきょう				植付後萌芽前 (雑草発生前)			
ねぎ		200～300 mL/10 a	70～100 L/10 a	定植後 (雑草発生前) ただし、 定植10日後まで			

① 30.0%ペンディメタリン乳剤（つづき）

作物名	適用	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンディメタリンを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
にら	一年生雑草	200～300 mL/10 a	100 L/10 a	定植後 (雑草発生前) ただし、 定植10日後まで	1回	全面土壌 散布	1回
				収穫30日前まで (雑草発生前)		畦間土壌 散布	
にんにく		300～500 mL/10 a	70～150 L/10 a	植付前 (マルチ前)		全面土壌 散布	
			70～100 L/10 a	植付後 (雑草発生前) ただし、 収穫60日前まで			
葉にんにく (マルチ栽培)		400～500 mL/10 a	70～150 L/10 a	植付前 (マルチ前)			
				植付前			
葉にんにく (マルチ栽培を 除く)		300～400 mL/10 a	100 L/10 a	植付後 (雑草発生前) ただし、 収穫60日前まで			
らっかせい		200～300 mL/10 a	70～150 L/10 a	は種後～本葉2葉期 (雑草発生前)			
にんじん		200～400 mL/10 a		萌芽前 (雑草発生前)			
アスパラガス				植付後萌芽前 (雑草発生前)			
しょうが				春期収穫直後 から萌芽前まで (雑草発生前)			
ふき (春どり露地栽培)		400 mL/10 a		春期ふき収穫直後 から萌芽前まで (雑草発生前)			
ふき (ふきのとう)				定植前 (雑草発生前)			
食用ぎく		200～400 mL/10 a		は種後出芽前 (雑草発生前)			
甘草		300 mL/10 a		100 L/10 a			
	越冬後萌芽前 (雑草発生前)						

② 2.0%ペンディメタリン粉粒剤

作物名	適用	適用 土壌	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	適用地 帯	ペンディメタリン を含む 農薬の総使 用回数
麦類	一年生 雑草	砂壤土 ～埴土	5～6 kg/10 a	は種後出芽前 (雑草発生前)	1回	全面 土壌 散布	全域	1回
陸稲			4～6 kg/10 a					
にんじん			4～5 kg/10 a					
ソルガム			4～6 kg/10 a					
とうもろこし			5～6 kg/10 a					
ヤングコーン		全土壌	5～6 kg/10 a				関東 以西	
らっかせい		砂壤土 ～埴土	5 kg/10 a					
パセリ		全土壌		植付前 (雑草発生前)			全域	2回以内 (土寄せ後 の処理は 1回以内)
さといも		砂壤土 ～埴土	4～6 kg/10 a	植付後萌芽前 (雑草発生前)			全域 (北海 道を除 く)	
				土寄せ後 (雑草発生前) ただし、 収穫60日前まで				
				植付後萌芽前 (雑草発生前)				
植付後マルチ前 ただし、萌芽前まで (雑草発生前)								
ばれいしょ (マルチ栽培 を除く)		4～5 kg/10 a	定植前又は定植後～ 定植翌日 (雑草発生前)	1回				
ばれいしょ (マルチ栽 培)								
キャベツ		全土壌	4～6 kg/10 a					定植前 (雑草発生前)
はくさい レタス 非結球レタス	萌芽前 (雑草発生前)							
アスパラガス	植付前 (マルチ前)							
にんにく 葉にんにく	砂壤土 ～埴土	4～6 kg/10 a	植付後 (雑草発生前) ただし、 収穫60日前まで					
			定植後 (雑草発生前) ただし、 収穫30日前まで					
たまねぎ (春播栽培)	5～6 kg/10 a							

② 2.0%ペンディメタリン粉粒剤（つづき）

作物名	適用	適用 土壌	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	適用 地帯	ペンディメタリン を含む 農薬の総使 用回数
たまねぎ (秋播栽培)	一年生 雑草	砂壤土 ～埴土	5～6 kg/10 a	定植後又は生育期 (雑草発生前) ただし、 収穫30日前まで	1回	全面 土壌 散布	全域	1回
たまねぎ (秋播マルチ 栽培)		全土壌		定植前 (マルチ前)				
葉たまねぎ		砂壤土 ～埴土						
ねぎ		全土壌	4～6 kg/10 a	定植後 (雑草発生前) ただし、 定植10日後まで				
しょうが				植付後萌芽前 (雑草発生前)				
こんにゃく			5～6 kg/10	植付後又は培土後 (雑草発生前) ただし、 植付30日後まで		全域 (北海 道、九州 を除く)		

③ 23.1%ペンディメタリン・19.7%ジメテナミド乳剤

作物名	適用	使用量		使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	ペンディメ タリンを含む 農薬の総 使用回数
		薬量	希釈水量				
とうもろこし	一年生 雑草	200～400 mL/10 a	100～150 L/10 a	は種後～とうも ろこし2葉期（イ 科雑草2葉期ま で）	1回	全面土壌 散布	1回
たまねぎ			100 L/10 a	定植前 （雑草発生前）			
				定植後 （雑草発生前） ただし、 定植45日後まで			
ばれいしょ			70～150 L/10 a	植付後萌芽前 （雑草発生前）			

④ 15.0%ペンディメタリン・10.0%リニュロン乳剤

作物名	適用	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
小麦 (秋播)	一年生雑草	300～400 mL/10 a	70～100 L/10 a	は種直後～は種後5日 (雑草発生前)	1回	全面土壌散布	1回
小麦		400～600 mL/10 a		は種直後 (雑草発生前)			
大麦		500～800 mL/10 a		は種直後 (雑草発生前)			
とうもろこし		400～500 mL/10 a		は種直後～は種後5日 (雑草発生前)			
		400～600 mL/10 a	100 L/10 a	は種直後 (雑草発生前)			
やまのいも				植付後～萌芽前 (雑草発生前)			
にんじん		300～500 mL/10 a	70～100 L/10 a	は種直後 (雑草発生前)			

⑤ 6.5%ペンディメタリン・6.7%ジメテナミドP・11.4%リニュロン乳剤

作物名	適用	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
だいず	一年生雑草	400～600 mL/10 a	70～150 L/10 a	は種後出芽前 (雑草発生前)	1回	全面土壌散布	1回
えだまめ							

⑥ 5.0%ペンディメタリン・50.0%ベンチオカーブ・7.5%リニュロン乳剤

作物名	適用	適用土壌	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量					
だいず えだまめ	一年生雑草	全土壌 (砂土を除く)	500～800 mL/10 a	70～100 L/10 a	は種直後 (雑草発生前)	1回	全面土壌散布	全域	1回
			500～700 mL/10 a		定植3日前まで (雑草発生前)				

⑥ 5.0%ペンディメタリン・50.0%ベンチオカーブ・7.5%リニュロン乳剤（つづき）

作物名	適用	適用 土壌	使用量		使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	適用 地帯	ペンディメ タリンを含む 農薬の総 使用回数
			薬量	希釈水量					
小麦	一年生 雑草	全土壌 (砂土 を除く)	400～600 mL/10 a	70～100 L/10 a	は種直後 (雑草発生 前)	1回	全面 土壌 散布	北海道	1回
大麦			500～700 mL/10 a					北海道 を除く 全域	
とうもろこし			500～800 mL/10 a		植付後～ 萌芽前 (雑草発生 前)				
ばれいしょ			600～800 mL/10 a						
にんじん			500～700 mL/10 a	100 L/10 a	は種直後 (雑草発生 前)				
らっかせい									

⑦ 1.5%ペンディメタリン・1.0%リニュロン粉粒剤

作物名	適用	希釈倍数	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	ペンディメタリンを 含む 農薬の総使用 回数
小麦 (秋播栽培)	一年生 雑草	3～5 kg/10 a	は種直後～は種 後5日 (雑草発生前)	1回	全面土壌 散布	1回
小麦		5～6 kg/10 a	は種直後 (雑草発生前)			
大麦						
とうもろこし		4～6 kg/10 a	植付後～萌芽前 (雑草発生前)			
やまのいも						
にんじん		3～5 kg/10 a	は種直後 (雑草発生前)			
こんにゃく		4～6 kg/10 a	植付直後 (雑草発生前)			

⑧ 1.2%ペンディメタリン・1.2%トリフルラリン粉粒剤

作物名	適用	希釈倍数	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	ペンディメタリン を含む 農薬の総使 用回数
陸稲	一年生雑草 (ツユク サ、キク科 を除く)	4～6 kg/10 a	は種直後	1回	全面 土壌 散布	1回
麦類			定植前 (植穴掘前)			
キャベツ			定植直後			
はくさい			定植後 ただし、 収穫75日前まで			
ねぎ			定植前 (マルチ前)			
たまねぎ			植付前～植付後 ただし、 収穫90日前まで			
たまねぎ (露地マルチ栽 培)			は種直後			
にんにく			植付後～萌芽前 (雑草発生前)			2回以内 (土寄せ後 の処理は1 回以内)
にんじん			植付直後			
ばれいしょ			植付後～萌芽前 ただし、 植付後30日まで			1回
さといも			植付後、培土後 (萌芽前)			
やまのいも						
こんにやく						

⑨ 0.80%ペンディメタリン・8.0%ベンチオカーブ・1.2%リニュロン粉粒剤

作物名	適用	希釈倍数	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方法	ペンディメタリン を含む 農薬の総使 用回数
小麦	一年生雑草	4～5 kg/10 a	は種直後 (雑草発生前)	1回	全面 土壌 散布	1回
大麦						
とうもろこし						
だいず						
えだまめ						
にんじん						
ばれいしょ						
さといも			植付後～萌芽前 (雑草発生前)			2回以内 (土寄せ後 の処理は1 回以内)

(2) 海外での使用方法

① 38.7%ペンディメタリン水和剤 (米国)

作物名	使用量	使用時期	最大 使用 回数	使用方法	最大使用量
アーティチョーク	3.0 pints/acre (1.42 lbs ai/acre)	収穫60日前 まで	1回	移植前1～2日 土壌表面散布	3.0 pints/acre (1.42 lbs ai/acre)
	3.1～8.2 pints/acre (1.47～4.0 lbs ai/acre)	収穫200日前 まで			8.2 pints/acre (4.0 lbs ai/acre)
アスパラガス	8.2 pints/acre (4.0 lbs ai/acre)	収穫14日前 まで		土壌表面散布	
アブラナ科野菜	2.1 pints/acre (1.0 lb ai/acre)	ブロッコリー：収穫60 日前まで キャベツ： 収穫70日前 まで		直播き1～3日 前又は本葉2 ～4葉期苗移 植の1～3日後	2.1 pints/acre (1.0 lb ai/acre) 2.1 pints/acre
ぶどう	2.1～6.3 pints/acre (1.0～3.0 lbs ai/acre)	収穫21日前 まで	3回	ぶどう垣根の 下部の土壌表 面散布	6.3 pints/acre (3.0 lbs ai/acre)

① 38.7%ペンディメタリン水和剤（米国）（つづき）

作物名	使用量	使用時期	最大 使用 回数	使用方法	総使用量
アルファルファ （種子）	1.1～4.2 quarts/acre (0.52～4.0 lbs ai/acre) (初回刈取りが行 われた場合)	収穫90日前 まで	3回	生育段階6イ ンチから散布 可能 土壌表面散布	4.2 quarts/acre (4.0 lbs ai/acre)
	1.1～2.1 pints/acre (0.52～1.0 lb ai/acre) (刈取りが行われ ていない場合)				2.1 pints/acre (1.0 lb ai/acre)
ソルガム	1.5 pints/acre (0.71 lb ai/acre) (米国南部、土性 粗い場合)	収穫21日前 まで	1回	生育段階4イ ンチから散布 可能、最終使 用時期は最後 の培土まで	3.0 pints/acre (1.4 lbs ai/acre) (土性が細かく 良好の場合)
	2.0 pints/acre (0.95 lb ai/acre) (米国南部で土性 が中程度の場合)				
	3.0 pints/acre (1.4 lbs ai/acre) (米国南部で土性 が細かく良好の場 合)				
	2.0 pints/acre (0.95 lb ai/acre) (米国北部で土性 が粗い場合)				
	3.0 pints/acre (1.4 lbs ai/acre) (米国北部、土性 が中程度か細かく 良好の場合)				
メロン類	2.1 pints/acre (1.0 lb ai/acre)	収穫35日前 まで	2回	土壌散布	4.2 pints/acre (2.0 lbs ai/acre)

① 38.7%ペンディメタリン水和剤（米国）（つづき）

作物名	使用量	使用時期	最大 使用 回数	使用方法	総使用量
さとうきび	ハワイを除く全 州：4.2～6.2 pints/acre (2.0～ 2.9 lbs ai/acre) 黒泥土（フロリダ 州のみ）、ハワイ： 4.2～8.4 pints/acre (2.0～ 4.0 lbs ai/acre)	収穫90日前 まで	2回	土壌散布（休 閑中の追加散 布はルイジア ナ州のみ）	12.5 pints/acre (5.9 lbs ai/acre)
綿実	粗粒土壌：1.0～ 2.0 pints/acre (0.48～0.95 lb ai/acre) 中粒土壌：1.5～ 2.0 pints/acre (0.71～0.95 lb ai/acre) 細粒土壌：2.0 or 3.0 pints/acre (0.95 or 1.4 lbs ai/acre)	収穫60日前 まで	4回	土壌散布	4.2 pints/acre (2.0 lbs ai/acre)
果菜類（トマト、 ピーマン、なす、 オクラ等）	粗粒土壌：1.0～ 1.5 pints/acre (0.48～0.71 lb ai/acre) 中粒土壌：1.5～ 2.0 pints/acre (0.71～0.95 lb ai/acre) 細粒土壌：1.5 or 3.0 pints/acre (0.71 or 1.4 lbs ai/acre)	トマト：収 穫21日前ま で その他の果 菜類：収穫 70日前まで	3回		3.0 pints/acre (1.4 lbs ai/acre)
つる性小粒果実類 （キウイー等）	2.1～4.2 quarts/acre (2.0～4.0 lbs ai/acre)	収穫60日前 まで	2回		4.2 quarts/acre (4.0 lbs ai/acre)
ブッシュベリー、 ケインベリー類	2.1～6.3 quarts/A (2.0～6.0 lbs ai/A)	収穫30日前 まで	3回		6.3 quarts/acre (6.0 lbs ai/acre)
いちご（および低 木ベリー類）	粗粒土壌：1.5 pints/acre (0.71 lb ai/acre) 中粒土壌：2.0～ 2.5 pints/acre (0.95～1.2 lbs ai/acre) 細粒土壌：2.5～ 3.0 pints/acre (1.2～1.4 lbs ai/acre)	収穫35日前 まで	4回		6.0 pints/acre (2.8 lbs ai/acre)

① 38.7%ペンディメタリン水和剤（米国）（つづき）

作物名	使用量	使用時期	最大 使用 回数	使用方法	総使用量
いちご：オレゴン 州及びワシントン 州の初年度の追加 散布	粗粒土壌（有機物 <3%）：1.5～2.0 pints/acre (0.71 ～0.95 lb ai/acre) 粗粒土壌（有機物 >3%）：2.0～3.0 pints/acre (0.95～1.4 lbs ai/acre) 中粒土壌（有機物 <3%）：2.0～2.5 pints/acre (0.95 ～1.2 lbs ai/acre) 中粒土壌（有機物 >3%）：2.0～3.0 pints/acre (0.95 ～1.4 lbs ai/acre) 細粒土壌（有機物 <3%）：2.0～3.0 pints/acre (0.95 ～1.4 lbs ai/acre) 細粒土壌（有機物 >3%）：2.5～3.5 pints/acre (1.2～ 1.7 lbs ai/acre)	収穫365日前 まで（いち ご移植前）	4回	土壌散布	6.0 pints/acre (2.8 lbs ai/acre)

ai: active ingredient（有効成分）

lb: ポンド（1 lb = 0.45359237 kg）

acre: エーカー（1 acre = 約4,047 m²）

pint: 0.473 L

quart: 0.946 L（1 quart = 2 pints）

② 37.4%ペンディメタリン乳剤（米国）

作物名	使用量	使用時期	最大 使用 回数	使用方法	最大使用量
結実前又はオフシーズン 果樹類及びナッツ類（仁果類、核果類、柑橘類、ナッツ類）ブドウ蔓	2.4 or 4.8 quarts/acre (2.0～4.0 lbs ai/acre)	移植前又は 移植後	3回	土壌散布	仁果類、核果類、その他の果樹：4.8 quarts/acre (4.0 lbs ai/acre) 柑橘類、ナッツ類、ブドウ蔓：7.8 quarts/acre (6.4 lbs ai/acre)
綿実	粗粒土壌：1.2～ 2.4 pints/acre (1.0～2.0 lbs ai/acre)	収穫60日前 まで	2回	土壌表面散布	2.4 pints/acre (2.0 lbs ai/acre)
	中粒土壌：1.8～ 2.4 pints/acre (1.5～2.0 lbs ai/acre)				
	細粒土壌：2.4～ 3.6 pints/acre (2.0～3.0 lbs ai/acre)				3.6 pints/acre (3.0 lbs ai/acre)

③ 23.2%ペンディメタリン・19.7%ジメテナミド乳剤（ハンガリー）

作物名	使用量	使用時期	最大 使用 回数	使用方法	最大使用量
とうもろこし	3.5～4.0 L/ha	発芽後2～3 葉（BBCH 12-13 ^{注1）} ）	1回	土壌散布	4.0 L/ha
だいず		発芽前			
ひまわり					

注）BBCHスケールで示される植物の成長段階

④ 455 g/Lペンディメタリン水和剤（フランス／オランダ）

作物名	使用量	使用時期	最大 使用 回数	使用方法	最大使用量
大麦	2 L/ha	発芽前～分 げっ期まで (BBCH 01- 25))	1回	土壌散布	2 L/ha

④ 455 g/Lペンディメタリン水和剤（フランス／オランダ）（つづき）

作物名	使用量	使用時期	最大 使用 回数	使用方法	最大使用量
ライ麦	2 L/ha	秋：1～2葉期（BBCH 11-12） 春：分げつ期（BBCH 21-25）	1回	土壌散布	2 L/ha
ばれいしょ	2.5 L/ha	発芽前（ばれいしょ発芽10日前まで）			2.5 L/ha
かぶ類	2 L/ha	発芽前（BBCH 01-08 ¹ ）			2 L/ha

⑤ 455 g/Lペンディメタリン水和剤（豪州）

作物名	使用量	使用時期	最大 使用 回数	使用方法	最大使用量
アボカド、バナナ、柑橘類、ライチ、マカデミアナッツ、マンゴー、ナッツ類、オリーブ等	6.5～8.7 L/ha	-	1回	土壌散布	8.7 L/ha

注）-：規定されていない項目

⑥ 440 g/Lペンディメタリン乳剤（豪州）

作物名	使用量	使用時期	最大 使用 回数	使用方法	最大使用量
大麦及び小麦	1.35 L/ha	播種24時間前まで	1回	土壌散布	1.35 L/ha
なたね	1.35～2.25 L/ha				2.25 L/ha

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

植物代謝試験が、とうもろこし、水稻、ばれいしょ、なたね、たまねぎ、らっかせい及び後作物（綿及びだいず）で実施されており、可食部で10%TRR^{注)}以上認められた代謝物は、確認されなかった。

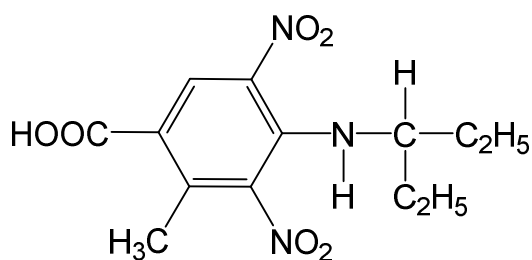
注) %TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

(2) 家畜代謝試験

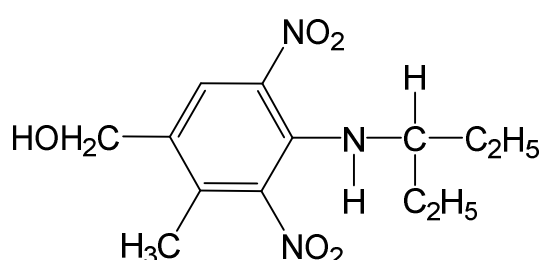
家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物Uであった。

【代謝物略称一覧】

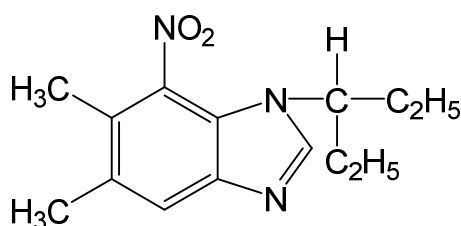
略称	化学名
E	4-[(1-エチルプロピル)アミノ]-2-メチル-3,5-ジニトロ安息香酸
P	4-[[1-エチルプロピル]アミノ]-2-メチル-3,5-ジニトロベンジルアルコール
U	1-(1-エチルプロピル)-5,6-ジメチル-7-ニトロ-1 <i>H</i> -ベンズイミダゾール



代謝物E



代謝物P



代謝物U

注) 残留試験の分析対象となっている代謝物について構造式を明記した。

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

- ・ペンディメタリン
- ・代謝物E

② 分析法の概要

i) ペンディメタリン及び代謝物E

試料から塩酸酸性下アセトンで抽出し、酢酸エチル又は n -ヘキサン・エーテル (7:3) 混液に転溶する。アセトニトリル/ヘキサン分配で脱脂した後、シリカゲルカラムを用いてペンディメタリンと代謝物Eの画分に分画する。代謝物Eはジアゾメタンでメチル化し、シリカゲルカラムを用いて精製する。それぞれ、高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ (GC-NPD) で定量する。

または、試料から塩酸酸性下アセトンで抽出し、 n -ヘキサン・エーテル (7:3) 混液に転溶する。アセトニトリル/ヘキサン分配で脱脂した後、アセトニトリル層に0.1 mol/L水酸化カリウム・10%塩化ナトリウム溶液を加え、ペンディメタリンを n -ヘキサンに転溶する。水層を塩酸酸性として代謝物Eを n -ヘキサンに転溶し、ジアゾメタンでメチル化する。それぞれ、シリカゲルカラムを用いて精製した後、電子捕獲型検出器付きガスクロマトグラフ (GC-ECD) で定量する。

定量限界：ペンディメタリン	0.001～0.005 mg/kg
代謝物E	0.002～0.01 mg/kg

ii) ペンディメタリン

試料から20%含水アセトン又は塩酸酸性下アセトンで抽出し、 n -ヘキサン又は酢酸エチルに転溶する。アセトニトリル/ヘキサン分配で脱脂した後、フロリジルカラム及びシリカゲル薄層クロマトグラフ (TLC) 又はシリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-NPD又はGC-ECDで定量する。

または、試料からアセトン又は水・アセトン (1:9) 混液で抽出し、必要に応じて n -ヘキサンに転溶する。グラファイトカーボンカラム及びPSA・シリカゲル連結カラム、グラファイトカーボン/PSA積層カラム又はフロリジルカラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) 又はガスクロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (GC-MS/MS) で定量する。

定量限界：ペンディメタリン 0.001～0.01 mg/kg

iii) 代謝物E

試料から塩酸酸性下メタノールで抽出し、酢酸エチルに転溶する。シリカゲルカラムを用いて精製した後、ジアゾメタンでメチル化し、GC-ECDで定量する。

定量限界：代謝物E 0.01 mg/kg

【海外】

① 分析対象物質

- ・ペンディメタリン
- ・代謝物P

② 分析法の概要

i) ペンディメタリン及び代謝物P

試料からメタノールで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶した後、ガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）で定量する。

または、試料からメタノール又は50%メタノールで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。フロリジルカラムを用いて精製した後、GC-NPDで定量する。

または、試料から塩酸酸性下メタノール又はジクロロメタン・メタノール（9：1）混液で抽出し、C₁₈カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

あるいは、試料からジクロロメタン・メタノール（9：1）混液で抽出し、*n*-ヘキサンに転溶した後アセトニトリル/ヘキサン分配する。フロリジルカラムを用いて精製した後、GC-NPDで定量する。

定量限界：ペンディメタリン 0.02～0.1 mg/kg

代謝物P 0.01～0.1 mg/kg

ii) ペンディメタリン

試料から塩酸酸性下メタノールで抽出し、ヘプタンに転溶する。シリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-NPDで定量する。

または、試料から10%メタノール・クロロホルム溶液又は塩酸酸性下メタノールで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶又はアセトニトリル/ヘキサン分配する。フロリジルカラムを用いて精製した後、GC-ECDで定量する。

または、試料からメタノール・クロロホルム混液で抽出し、アセトニトリル/ヘキサン分配する。フロリジルカラムを用いて精製した後、GC-ECDで定量する。

あるいは、試料からメタノール・ジクロロメタン（1：1）混液で抽出し、シクロヘキサンに転溶した後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：ペンディメタリン 0.005～0.1 mg/kg

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2、1-3、1-4及び1-5を参照。

5. 魚介類における推定残留濃度

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、本剤の水域環境中予測濃度^{注1)}及び生物濃縮係数(BCF : Bioconcentration Factor)から、以下のとおり魚介類中の推定残留濃度を算出した。

(1) 水域環境中予測濃度

本剤が非水田においてのみ使用されることから、ペンディメタリンの非水田PECtier1^{注2)}を算出したところ、0.016 µg/Lとなった。

(2) 生物濃縮係数

¹⁴C標識ペンディメタリンを用いた35日間の取込期間を設定したブルーギルサンフィッシュの魚類濃縮性試験が実施された(濃度2.2~4.2 µg/L)。ペンディメタリンの分析の結果から、BCFss^{注3)}は3458 L/kgと算出された。

(3) 推定残留濃度

(1)及び(2)の結果から、ペンディメタリンの水域環境中予測濃度 : 0.016 µg/L、BCF : 3458 L/kgとし、下記のとおり推定残留濃度を算出した。

$$\text{推定残留濃度} = 0.016 \text{ µg/L} \times (3458 \text{ L/kg} \times 5) = 276.64 \text{ µg/kg} = 0.28 \text{ mg/kg}$$

注1) 農薬取締法第4条第1項第8号に基づく水域の生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準設定における規定に準拠

注2) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出

注3) BCFss : 定常状態における被験物質の魚体中濃度と水中濃度の比で求められたBCF

(参考) 平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書

6. 畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料の最大給与割合等から算出した飼料中の残留農薬濃度と動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

- ・ペンディメタリン
- ・代謝物P

・代謝物U

② 分析法の概要

試料から塩酸酸性下メタノールで抽出し、C₁₈カラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：ペンディメタリン 0.01～0.05 mg/kg

代謝物P 0.01～0.05 mg/kg

代謝物U 0.01～0.05 mg/kg

(2) 家畜残留試験（動物飼養試験）

① 乳牛を用いた残留試験

乳牛（ホルスタイン種、体重509.5～597.5 kg、6頭/群）に対して、飼料中濃度（乾燥重量当たり）として760 ppmに相当する量のペンディメタリンを含むゼラチンカプセルを29日間にわたり投与し、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるペンディメタリン、代謝物P及び代謝物Uの濃度をLC-MS/MSで測定した。乳については、投与開始日から投与期間中毎日採取した乳に含まれるペンディメタリン、代謝物P及び代謝物Uの濃度をLC-MS/MSで測定した。結果は表1を参照。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度(mg/kg)

	760 ppm投与群		
	ペンディメタリン	代謝物P	代謝物U
筋肉	<0.05 (最大)	<0.05 (最大)	<0.05 (最大)
	<0.05 (平均)	<0.05 (平均)	<0.05 (平均)
脂肪	0.18 (最大)	<0.05 (最大)	<0.05 (最大)
	0.084 (平均)	<0.05 (平均)	<0.05 (平均)
肝臓	<0.05 (最大)	<0.05 (最大)	1.23 (最大)
	<0.05 (平均)	<0.05 (平均)	0.494 (平均)
腎臓	<0.05 (最大)	<0.05 (最大)	2.47 (最大)
	<0.05 (平均)	<0.05 (平均)	1.00 (平均)
乳 ^{注)}	0.011 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)

定量限界：筋肉0.05 mg/kg、脂肪0.05 mg/kg、肝臓0.05 mg/kg、腎臓0.05 mg/kg、乳0.01 mg/kg

注) 投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に算出し、その平均値を求めた。

② 産卵鶏を用いた残留試験

産卵鶏（Special Black種、体重1.95～3.22 kg、12羽又は24羽/群）に対して、飼料中濃度として1.5、4.5及び15 ppmに相当する量のペンディメタリンを含むゼラチン

カプセルを29日間にわたり投与し、筋肉、脂肪及び肝臓に含まれるペンディメタリン、代謝物P及び代謝物Uの濃度をLC-MS/MSで測定した。鶏卵については、毎日採卵した卵に含まれるペンディメタリン、代謝物P及び代謝物Uの濃度をLC-MS/MSで測定した。全ての投与群において、卵、臓器及び組織中における、代謝物P及び代謝物Uの残留濃度は定量限界（<0.01 mg/kg）未満であった。ペンディメタリンの結果は表2を参照。

表2. 産卵鶏の試料中の残留濃度(mg/kg)

	1.5 ppm投与群	4.5 ppm投与群	15 ppm投与群
筋肉	<0.01（最大）	<0.01（最大）	<0.01（最大）
	<0.01（平均）	<0.01（平均）	<0.01（平均）
脂肪	<0.01（最大）	<0.01（最大）	0.014（最大）
	<0.01（平均）	<0.01（平均）	0.011（平均）
肝臓	<0.01（最大）	<0.01（最大）	<0.01（最大）
	<0.01（平均）	<0.01（平均）	<0.01（平均）
卵	<0.01（最大）	<0.01（最大）	<0.01（最大）
	<0.01（平均）	<0.01（平均）	<0.01（平均）

定量限界：筋肉0.01 mg/kg、脂肪0.01 mg/kg、肝臓0.01 mg/kg

卵0.01 mg/kg

（3）飼料中の残留農薬濃度

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和51年農林省令第35号）に定める飼料一般の成分規格等と飼料の最大給与割合等から、飼料の摂取によって家畜が暴露されうる飼料中の残留農薬濃度を算出した。

成分規格等で定められている基準値上限まで飼料中に農薬が残留している場合を仮定し、これに飼料の最大給与割合等を掛け合わせるにより飼料中の最大飼料由来負荷（MDB）^{注1)}を算出したところ、乳牛において990 ppm、肉牛において560 ppm、産卵鶏において0.05 ppm、肉用鶏において0.04 ppmと推定された。また、平均的飼料由来負荷（STMR dietary burden又はmean dietary burden）^{注2)}は、乳牛において440 ppm、肉牛において250 ppm、産卵鶏において0.05 ppm、肉用鶏において0.04 ppmと推定された。

また、上記の結果に関連して、JMPRは、肉牛、乳牛及び産卵鶏のMDBをそれぞれ820、470及び0.41 ppm、STMR dietary burdenをそれぞれ390、220及び0.08 ppmと評価している。

注1) 最大飼料由来負荷（Maximum Dietary Burden：MDB）：飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2) 平均的飼料由来負荷（STMR dietary burden 又はmean dietary burden）：飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に（作物残留試験から得ら

れた残留濃度の中央値を試算に用いる)、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

(4) 推定残留濃度

牛及び鶏について、MDBと家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果は表3-1及び3-2を参照。

表3-1. 畜産物中の推定残留濃度：牛 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
乳牛	<0.07 (<0.03)	0.23 (0.05)	<0.07 (<0.03)	<0.07 (<0.03)	0.03 (0.006)
肉牛	<0.04 (<0.02)	0.13 (0.02)	<0.04 (<0.02)	<0.04 (<0.02)	

上段：最大残留濃度

下段括弧内：平均的な残留濃度

表3-2. 畜産物中の推定残留濃度：鶏 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
肉用鶏	<0.00003 (<0.00003)	0.00004 (0.00003)	<0.00003 (<0.00003)	
産卵鶏	<0.00003 (<0.00003)	0.00005 (0.00003)	<0.00003 (<0.00003)	<0.00003 (<0.00003)

上段：最大残留濃度

下段括弧内：平均的な残留濃度

7. ADI及びARfDの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたペンディメタリンに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

無毒性量：12.5 mg/kg 体重/day

(動物種) イヌ

(投与方法) カプセル経口

(試験の種類) 慢性毒性試験

(期間) 2年間

安全係数：100

ADI：0.12 mg/kg 体重/day

発がん性試験において、ラットで甲状腺ろ胞細胞腫瘍が認められたが、発生機序は遺伝毒性メカニズムとは考えがたく、評価にあたり閾値を設定することは可能であると考

えられた。

(参考)

評価に供された遺伝毒性試験の*in vitro*試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験をはじめ*in vivo*試験では陰性の結果が得られたので、ペンディメタリンは生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

(2) ARfD

無毒性量：100 mg/kg 体重

(動物種) 雌ラット

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 急性神経毒性試験

安全係数：100

ARfD：1 mg/kg 体重

8. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2016年にADI及びARfDが設定されている。国際基準はアスパラガス、豆類等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてすいか、メロン類果実等に、カナダにおいてりんご、あんず等に、EUにおいてにんじん、西洋わさび等に、豪州において豆類、にんじん等に、ニュージーランドにおいてにんじん、レタス等に基準値が設定されている。

9. 基準値案

(1) 残留の規制対象

ペンディメタリンとする。

植物代謝試験の結果、可食部において、10%TRR以上認められた代謝物は、確認されなかった。また、国内の一部の作物残留試験において代謝物E、米国において代謝物Pの分析が行われているが、いずれも定量限界未満であること及び国際基準における規制対象はペンディメタリンのみであることを考慮し、農産物の規制対象物質としてペンディメタリンと設定する。

家畜代謝試験の結果、10%TRR以上認められた代謝物として代謝物Uが認められたが、当該部位はウシの肝臓及び腎臓に限られていること及び国際基準における規制対象はペンディメタリンのみであることから農産物、畜産物及び魚介類中の規制対象物質としてペンディメタリンと設定する。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価対象

ペンディメタリンとする。

植物代謝試験の結果、可食部において、10%TRR以上認められた代謝物は、確認されなかったこと、国内の一部の作物残留試験において代謝物E、米国において代謝物Pの分析が行われているが、いずれも定量限界未満であることから農産物の暴露評価対象はペンディメタリンのみとする。

家畜代謝試験の結果、10%TRR以上認められた代謝物として代謝物Uが認められたが、当該部位は乳牛の肝臓及び腎臓に限られていることから畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質はペンディメタリンのみとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物、畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質をペンディメタリン（親化合物のみ）としている。

(4) 暴露評価

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	TMDI／ADI (%) 注)
国民全体（1歳以上）	2.2
幼小児（1～6歳）	4.4
妊婦	2.1
高齢者（65歳以上）	2.3

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

TMDI試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

<参考>

	EDI／ADI (%) 注)
国民全体（1歳以上）	0.6
幼小児（1～6歳）	1.2
妊婦	0.5
高齢者（65歳以上）	0.6

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を算出したところ、国民全体（1歳以上）及び幼小児（1～6歳）のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量（ARfD）を超えていない^注。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注）基準値案、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

ペンディメタリンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注) 【ペンディメタリン/代謝物E】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
はくさい (茎葉)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	61 66	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
キャベツ (茎葉)	2	30.0%乳剤	600 mL 100 L/10 a散布	1	99 73	圃場A:<0.005/- (#) 圃場B:<0.005/- (#)
	2	2.0%粉粒剤	6 kg/10 a散布	1	55 65	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-
	2	30.0%乳剤	400, 600, 800 mL 100 L/10 a散布	1	85 37	圃場A:<0.005/- 圃場B:<0.005/-
	2	30.0%乳剤	400, 800 mL 150 L/10 a散布	1	118 83	圃場A:0.018/- (#) 圃場B:<0.01/-
にんじん (根部)	2	30.0%乳剤	400 mL 70 L/10 a散布	1	77 68	圃場A:0.04/- 圃場B:<0.01/-
	1	30.0%乳剤	400 mL 70 L/10 a散布	1	31	圃場A:0.012/-
たまねぎ (鱗茎)	6	30.0%乳剤	400, 800 mL 100 L/10 a散布	1	102 124	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-
			500 mL 100 L/10 a散布	1	60 70	圃場A:<0.005/- 圃場B:<0.005/-
			500 mL 100 L/10 a散布	1	21, 30, 45	圃場A:<0.01/- (1回, 45日) 圃場B:<0.01/- (1回, 45日)
			500 mL 100 L/10 a散布	1	21, 30, 45	圃場A:<0.01/- (1回, 45日) 圃場B:<0.01/- (1回, 45日)
	2	2.0%粉粒剤	6 kg/10 a散布	1	50	圃場A:<0.005/- 圃場B:<0.005/-
	2	2.0%粉粒剤	6 kg/10 a散布	1	21, 30, 45	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-
	2	30.0%乳剤	500 mL 100 L/10 a散布	1	145 50	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
	2	30.0%乳剤	400, 500 mL 70 L/10 a散布	1	165 126	圃場A:<0.005/- 圃場B:<0.005/-
にら (茎葉)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	183 139	圃場A:<0.01/- (#) 圃場B:<0.01/- (#)
	4	30.0%乳剤	300 mL 100 L/10 a 畦間土壌表面散布	1	30	圃場A:<0.01*/-, 0.01**/- 圃場B:<0.01*/-, <0.01**/-
さといも (球茎)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	233 197	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-
さといも (塊茎)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	29, 45, 60 31, 47, 61	圃場A:0.02/- (1回, 45日) (#) 圃場B:<0.01/-
	3	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	2	60, 75, 90 60, 75, 90 60, 75, 89	圃場A:<0.01/- (2回, 60日) 圃場B:<0.01/- (2回, 60日) 圃場C:<0.01/- (2回, 60日)
	3	2.0%粉粒剤	6 kg/10 a散布	2	60, 75, 90 60, 74, 90 60, 75, 89	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/- 圃場C:<0.01/-
	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	91 131	圃場A:<0.005/- (#) 圃場B:<0.005/- (#)
	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	134 176	圃場A:<0.005/- (#) 圃場B:<0.005/- (#)
	2	30.0%乳剤	500 mL 100 L/10 a散布	1	147 163	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-
にんにく (鱗茎)	2	30.0%乳剤	500 mL 100 L/10 a散布	1	91 67	圃場A:<0.01/- 圃場B:<0.01/-

ペンディメタリンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験 圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注) 【ペンディメタリン/代謝物E】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
葉にんにく (葉・鱗茎)	2	30.0%乳剤	500 mL 70 L/10 a散布	1	132	圃場A:<0.005/-
					111	圃場B:<0.005/-
	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	60, 75	圃場A:<0.01/- (1回, 60日)
					65, 75	圃場B:<0.01/- (1回, 65日)
らっかせい (乾燥子実)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	151	圃場A:<0.01/- (#)
					130	圃場B:<0.01/- (#)
大麦 (子実)	2	30.0%乳剤	500 mL 100 L/10 a散布	1	216	圃場A:<0.005/<0.005
					189	圃場B:<0.005/<0.005
とうもろこし (乾燥子実)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	119	圃場A:<0.005/<0.01
					90	圃場B:<0.005/<0.01
未成熟 とうもろこし (種子)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	89	圃場A:<0.005/<0.01
					80	圃場B:<0.005/<0.01
	2	23.1%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	72	圃場A:<0.01/-
					56	圃場B:<0.01/-
ヤングコーン (雌穂)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	83	圃場A:<0.01/-
					73	圃場B:<0.01/-
陸稲 (玄米)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	125	圃場A:<0.005/-
					142	圃場B:<0.005/-
水稻 (玄米)	2	3%粒剤	4 kg/10 a散布	1	115	圃場A:<0.005/<0.01 (#)
					92	圃場B:<0.005/<0.01 (#)
りんご (果実)	2	30.0%乳剤	500 mL 100 L/10 a散布	2	20	圃場A:<0.005/-
					20	圃場B:<0.005/-
ぶどう (果実)	2	30.0%乳剤	500 mL 100 L/10 a散布	2	24	圃場A:<0.005/-
					20	圃場B:0.015***/-
なし (果実)	2	30.0%乳剤	500 mL 100 L/10 a散布	2	76	圃場A:<0.005/- (#)
					90	圃場B:<0.005/- (#)
えだまめ (さや)	2	30.0%乳剤	200 mL 100 L/10 a散布	1	123	圃場A:<0.005/- (#)
					135	圃場B:<0.005/- (#)
だいず (乾燥子実)	2	30.0%乳剤	200 mL 100 L/10 a散布	1	118	圃場A:<0.008/- (#)
					120	圃場B:<0.008/- (#)
小豆 (種子)	2	30.0%乳剤	400, 800 mL 100 L/10 a散布	1	277	圃場A:<0.01/-
					163	圃場B:<0.01/-
小麦 (子実)	2	30.0%乳剤	400 mL 70 L/10 a散布	1	119	圃場A:<0.02/-
					137	圃場B:<0.02/-
食用ぎく (花)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	75	圃場A:<0.005/-
					109	圃場B:<0.005/-
カリフラワー (花蕾)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	8	圃場A:<0.01/-
					31	圃場B:<0.01/-
アスパラガス (茎)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	59, 66, 73	圃場A:<0.01/- (1回, 59日)
					69, 76, 83	圃場B:0.02/- (1回, 76日)
かぼちゃ (果実)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a畦間散布	1	278	圃場A:<0.01/-
					345	圃場B:<0.01/-
らっきょう (鱗茎)	2	30.0%乳剤	500 mL 100 L/10 a散布	1	65, 319	圃場A:<0.01/- (2回, 65日)
					57, 311	圃場B:<0.01/- (2回, 57日)
うど (軟化茎葉)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1, 2	94	圃場A:<0.01/-
					100	圃場B:<0.01/-
かんしょ (塊根)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a畦間散布	1	21, 30, 45	圃場A:<0.01/-
					19, 29, 44	圃場B:0.02/- (1回, 19日)
そば (脱穀種子)	2	30.0%乳剤	300 mL 100 L/10 a畦間散布	1	355	圃場A:<0.01/-
					364	圃場B:<0.01/-
ふき (葉柄)	2	30.0%乳剤	400 mL 100 L/10 a散布	1	262	圃場A:<0.005/-
					282	圃場B:<0.005/-

ペンディメタリンの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験 圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注) 【ペンディメタリン/代謝物E】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
甘草 (根及びほふく 茎)	2	30.0%乳剤	300 mL 100 L/10 a散布	1	99	圃場A:0.01/-
					105	圃場B:0.01/-
パセリ (茎葉)	2	2.0%粉粒剤	5 kg/10 a散布	1	62, 69, 76	圃場A:0.03/- (1回, 62日)
					64, 71, 78	圃場B:0.02/- (1回, 64日)
しょうが (塊茎)	2	2.0%粉粒剤	6 kg/10 a散布	1	140	圃場A:<0.01/-
					130	圃場B:<0.01/-

* 1回目収穫3日後の散布

** 2回目収穫3日後の散布

*** コンタミによる異常値と考えられる。

- : 分析せず

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

ペンディメタリンの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注) 【ペンディメタリン/代謝物P】
		剤型	総使用量・使用方法	回数	経過日数	
ソルガム (種子)	4	42.3%乳剤	0.75 lb ai/acre	1	143	圃場A:<0.05/<0.05 (#)
			2.0 lb ai/acre		137	圃場B:<0.05/<0.05 (#)
			0.75 lb ai/acre		95	圃場C:<0.05/<0.05 (#)
			1.25 lb ai/acre		76	圃場D:<0.05/<0.05 (#)
さとうきび	3	42.3%乳剤	6.0 lb ai/acre	2	349	圃場A:<0.05/<0.05 (#)
			4.0 lb ai/acre		90	圃場B:<0.05/<0.05 (#)
			4.0 lb ai/acre		201	圃場C:<0.05/<0.05 (#)
アーティチョーク	3	37.4%乳剤	4.18 lb ai/acre	1	226	圃場A:<0.05/<0.05 (#)
			4.22 lb ai/acre		206	圃場B:<0.05/<0.05 (#)
			5.73 lb ai/acre		200	圃場C:<0.05/<0.05 (#)
ブロッコリー	6	37.4%乳剤	0.99 lb ai/acre	1	78	圃場A:<0.05/<0.05 (#)
			1.0 lb ai/acre		63	圃場B:<0.05/<0.05 (#)
			1.0 lb ai/acre		79	圃場C:<0.05/<0.05 (#)
			1.0 lb ai/acre		99	圃場D:<0.05/<0.05 (#)
			1.01 lb ai/acre		58	圃場E:<0.05/<0.05 (#)
			1.03 lb ai/acre		82	圃場F:<0.05/<0.05 (#)
キャベツ (外葉あり結球)	7	37.4%乳剤	0.99 lb ai/acre	1	94	圃場A:<0.05/<0.05 (#)
			1.00 lb ai/acre		108	圃場B:<0.05/<0.05 (#)
			1.01 lb ai/acre		70	圃場C:<0.05/<0.05 (#)
			1.01 lb ai/acre		82	圃場D:<0.05/<0.05 (#)
			1.03 lb ai/acre		96	圃場E:<0.05/<0.05 (#)
			1.00 lb ai/acre		98	圃場F:<0.05/<0.05 (#)
			1.02 lb ai/acre		82	圃場G:<0.05/<0.05 (#)
キャベツ (外葉なし結球)	7	37.4%乳剤	0.99 lb ai/acre	1	94	圃場A:<0.05/<0.05 (#)
			1.00 lb ai/acre		108	圃場B:<0.05/<0.05 (#)
			1.01 lb ai/acre		70	圃場C:<0.05/<0.05 (#)
			1.01 lb ai/acre		82	圃場D:<0.05/<0.05 (#)
			1.03 lb ai/acre		96	圃場E:<0.05/<0.05 (#)
			1.00 lb ai/acre		98	圃場F:<0.05/<0.05 (#)
			1.02 lb ai/acre		82	圃場G:<0.05/<0.05 (#)
トマト	6	38.7%水和剤	1.52 lb ai/acre	1	21	圃場A:<0.05/<0.05
			1.49 lb ai/acre		21	圃場B:<0.05/<0.05
			1.45 lb ai/acre		21	圃場C:<0.05/<0.05
			1.50 lb ai/acre		21	圃場D:<0.05/<0.05
			1.48 lb ai/acre		21	圃場E:<0.05/<0.05
			1.50 lb ai/acre		14, 21, 28, 35	圃場F:<0.05/<0.05
Non-bell pepper	2	37.4%乳剤	2.08 lb ai/acre	1	90	圃場A:<0.05/<0.05 (#)
			1.49 lb ai/acre		76	圃場B:<0.05/<0.05 (#)
りんご	10	37.4%乳剤	5.71 lb ai/acre	1	57	圃場A:<0.05/<0.05 (#)
			4.0 lb ai/acre		58	圃場B:<0.05/<0.05
			4.22 lb ai/acre		58	圃場C:<0.05/<0.05
			12.0 lb ai/acre		58	圃場D:<0.05/<0.05 (#)
			4.79 lb ai/acre		59	圃場E:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		63	圃場F:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		61	圃場G:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		61	圃場H:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		61	圃場I:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		60	圃場J:<0.05/<0.05
りんごジュース	2	37.4%乳剤	4.22 lb ai/acre	1	58	圃場A:<0.05/<0.05
			12.0 lb ai/acre		58	圃場B:<0.05/<0.05 (#)
西洋なし	3	37.4%乳剤	4.0 lb ai/acre	1	60	圃場A:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		60	圃場B:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		61	圃場C:<0.05/<0.05
もも (果実)	6	37.4%乳剤	5.4 lb ai/acre	1	61	圃場A:<0.05/<0.05 (#)
			4.0 lb ai/acre		58	圃場B:<0.05/<0.05
			4.9 lb ai/acre		62	圃場C:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		60	圃場D:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		59	圃場E:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		60	圃場F:<0.05/<0.05
プラム	6	37.4%乳剤	7.44 lb ai/acre	1	57	圃場A:<0.05/<0.05 (#)
			22.43 lb ai/acre		57	圃場B:<0.05/<0.05 (#)
			4.0 lb ai/acre		60	圃場C:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		59	圃場D:<0.05/<0.05
			4.65 lb ai/acre		60	圃場E:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		60	圃場F:<0.05/<0.05
チェリー	6	37.4%乳剤	4.0 lb ai/acre	1	59	圃場A:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		60	圃場B:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		61	圃場C:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		62	圃場D:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		60	圃場E:<0.05/<0.05
			4.0 lb ai/acre		61	圃場F:<0.05/<0.05

ペンディメタリンの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験 圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) ^{注)} 【ペンディメタリン/代謝物P】
		剤型	総使用量・使用方法	回数	経過日数	
ブルーベリー	6	38.7%水和剤	6.14 lb ai/acre	1	31	圃場A:<0.05/<0.05
			6.12 lb ai/acre		28	圃場B:<0.05/<0.05
			6.06 lb ai/acre		28	圃場C:<0.05/<0.05
			5.95 lb ai/acre		30	圃場D:<0.05/<0.05
			6.10 lb ai/acre		29	圃場E:<0.05/<0.05
			6.22 lb ai/acre		28, 35	圃場F:<0.05/<0.05
カンベリー	6	38.7%水和剤	5.82 lb ai/acre	1	28	圃場A:<0.05/<0.05
			5.82 lb ai/acre		30	圃場B:<0.05/<0.05
			6.02 lb ai/acre		29	圃場C:<0.05/<0.05
			6.20 lb ai/acre		28	圃場D:<0.05/<0.05
			6.17 lb ai/acre		30, 35	圃場E:<0.05/<0.05
			5.76 lb ai/acre		34	圃場F:<0.05/<0.05
いちご	8	38.7%水和剤	3.15 lb ai/acre	2	27	圃場A:<0.05/<0.05
			3.05 lb ai/acre		29	圃場B:<0.05/<0.05
			3.00 lb ai/acre		26	圃場C:<0.05/<0.05
			3.06 lb ai/acre		28	圃場D:<0.05/<0.05
			3.04 lb ai/acre		30	圃場E:<0.05/<0.05
			3.20 lb ai/acre		29	圃場F:<0.05/<0.05
			2.99 lb ai/acre		28	圃場G:<0.05/<0.05
			3.34 lb ai/acre		30	圃場H:<0.05/<0.05
ぶどう	9	37.4%乳剤	11.95 lb ai/acre	1	98	圃場A:<0.05/<0.05 (#)
			6.02 lb ai/acre		98	圃場B:<0.05/<0.05
			5.74 lb ai/acre		100	圃場C:<0.05/<0.05
			5.74 lb ai/acre		96	圃場D:<0.05/<0.05
			5.74 lb ai/acre		98, 100	圃場E:<0.05/<0.05
			6.00 lb ai/acre		87	圃場F:<0.05/<0.05
			6.00 lb ai/acre		92	圃場G:<0.05/<0.05
			5.96 lb ai/acre		92	圃場H:<0.05/<0.05
			6.41 lb ai/acre		95	圃場I:<0.05/<0.05
キウイ	3	38.7%水和剤	6.09 lb ai/acre	1	58	圃場A:<0.02/<0.04 (#)
			6.13 lb ai/acre		58	圃場B:<0.02/<0.04 (#)
			6.22 lb ai/acre		60	圃場C:<0.02/<0.04 (#)
綿実	5	38.7%水和剤	2.01 lb ai/acre	2	60	圃場A:<0.05/<0.05
			1.99 lb ai/acre		110	圃場B:<0.05/<0.05
			1.98 lb ai/acre		113	圃場C:<0.05/<0.05
			2.01 lb ai/acre		66	圃場D:<0.05/<0.05
			2.0 lb ai/acre		102	圃場E:<0.05/<0.05
カンタローブ	9	38.7%水和剤	1.99 lb ai/acre	2	47	圃場A:<0.05/<0.05
			1.99 lb ai/acre		49	圃場B:<0.05/<0.05
			2.00 lb ai/acre		45	圃場C:<0.05/<0.05
			2.02 lb ai/acre		35	圃場D:<0.05/<0.05
			2.02 lb ai/acre		41	圃場E:<0.05/<0.05
			2.01 lb ai/acre		39	圃場F:<0.05/<0.05
			2.01 lb ai/acre		38	圃場G:<0.05/<0.05
			2.00 lb ai/acre		37	圃場H:<0.05/<0.05
			1.96 lb ai/acre		47	圃場I:<0.05/<0.05

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に使い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

ペンディメタリンの作物残留試験一覧表（カナダ）

農作物	試験 圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注) 【ペンディメタリン/代謝物P】
		剤型	総使用量・使用方法	回数	経過日数	
なたね	6	42.3%乳剤	1.03 kg ai/ha	1	90	圃場A:<0.05/<0.05 (#)
			2.07 kg ai/ha		90	圃場B:<0.05/<0.05 (#)
			1.78 kg ai/ha		101	圃場C:<0.05/<0.05 (#)
			3.57 kg ai/ha		101	圃場D:<0.05/<0.05 (#)
			1.24 kg ai/ha		95	圃場E:<0.05/<0.05 (#)
			2.47 kg ai/ha		95	圃場F:<0.05/<0.05 (#)

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

ペンディメタリンの作物残留試験一覧表 (EU)

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注)
		剤型	総使用量・使用方法	回数	経過日数	
大麦	2	12.5%水和剤	0.5 kg ai/ha	1	258	圃場A:<0.05 (#)
			1.0 kg ai/ha		258	圃場B:<0.05 (#)
ライ麦	4	330 g/L乳剤	2.0 kg ai/ha	1	294	圃場A:<0.10 (#)
			2.0 kg ai/ha		287	圃場B:<0.10 (#)
			2.0 kg ai/ha		294	圃場C:<0.10 (#)
			2.0 kg ai/ha		294	圃場D:<0.10 (#)
ばれいしょ	4	330 g/L乳剤	2.00 kg as/ha	1	91	圃場A:<0.05 (#)
			2.00 kg as/ha		91	圃場B:<0.05 (#)
			2.026 kg as/ha		103	圃場C:<0.05 (#)
			2.0 kg as/ha		90	圃場D:<0.05 (#)
てんさい	4	330 g/L水和剤	1.65 kg ai/ha	1	330, 477, 520	圃場A:<0.05 (#)
			1.65 kg ai/ha		477, 520	圃場B:<0.05 (#)
			1.65 kg ai/ha		397, 539	圃場C:<0.05 (#)
			1.65 kg ai/ha		366, 396, 426	圃場D:<0.05 (#)
かぶ (根)	2	455 g/L水和剤	1.593 kg ai/ha	1	21	圃場A:0.038 (#)
			1.593 kg ai/ha		21	圃場B:0.018 (#)
ひまわり (種子)	4	250.0 g/L乳剤	1.0366 kg as/ha	1	133	圃場A:<0.05
			1.0494 kg as/ha		148	圃場B:<0.05
			1.0290 kg as/ha		124	圃場C:<0.05
			1.0697 kg as/ha		117	圃場D:<0.05

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

注) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に使い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

ペンディメタリンの作物残留試験一覧表（豪州）

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度（mg/kg） ^注
		剤型	総使用量・使用方法	回数	経過日数	
バナナ	2	330 g/L乳剤	4 kg ai/ha	1	344	圃場A:<0.005（#）
			8 kg ai/ha		344	圃場B:<0.005（#）
マンゴー	2	330 g/L乳剤	4 kg ai/ha	1	91	圃場A:<0.02（#）
			8 kg ai/ha		91	圃場B:<0.02（#）

（#）印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

注）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.02	0.2	○			<0.005,<0.005(¥)(陸稲)
小麦	0.05	0.2	○			<0.01,<0.01(¥)
大麦	0.2	0.2	○			【<0.05,<0.05(¥)(EU)】
ライ麦	0.1	0.2	○			【<0.1(¥)(n=4)(EU)】
とうもろこし	0.05	0.2	○			<0.01,<0.01(¥)
そば	0.1	0.1	○			<0.01,0.02(¥)
その他の穀類	0.05	0.1	○		0.1(*) 米国	【米国ソルガム(<0.05(¥)(n=4))】
大豆	0.05	0.2	○	0.05		
小豆類	0.05	0.05		0.05		
えんどう	0.05	0.1		0.05		
そら豆	0.05	0.1		0.05		
らっかせい	0.05	0.2	○			<0.01,<0.01(¥)
その他の豆類	0.05	0.1		0.05		
ばれいしょ	0.05	0.2	○		0.05 EU	【<0.05(¥)(n=4)(EU)】
さといも類(やつがしらを含む。)	0.01	0.2	○			<0.01,<0.01,<0.01
かんしょ	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01
やまいも(長いもをいう。)	0.05	0.2	○			<0.01,<0.01
こんにゃくいも	0.02	0.2	○			<0.005,<0.005(¥)
その他のいも類		0.05				
てんさい	0.05	0.05			0.05 EU	【<0.05(¥)(n=4)(EU)】
さとうきび	0.05	0.1			0.1(*) 米国	【<0.05,<0.05,<0.05(¥)(米国)】
だいこん類(ラディッシュを含む。)		0.05				
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.3	0.05		0.3		
かぶ類の根	0.2	0.05				【0.018,0.038(¥)(EU)】
かぶ類の葉	0.3	0.05		0.3		
西洋わさび		0.05				
クレソン	0.3	0.05		0.3		
はくさい	0.3	0.2	○	0.3		
キャベツ	0.05	0.2	○		0.1(*) 米国	【米国ブロッコリー(<0.05(¥)(n=6))、 キャベツ外葉あり(<0.05(¥)(n=7))】
芽キャベツ	0.05	0.2			0.1(*) 米国	【米国ブロッコリー、キャベツ参照】
ケール	0.5	0.05		0.5		
こまつな	0.3	0.05		0.3		
きょうな	0.3	0.05		0.3		
チンゲンサイ	0.3	0.05		0.3		
カリフラワー	0.05	0.05	○		0.1(*) 米国	【米国ブロッコリー、キャベツ参照】
ブロッコリー	0.05	0.05			0.1(*) 米国	【<0.05(¥)(n=6)(米国)】
その他のあぶらな科野菜	0.3	0.05		0.3		
アーティチョーク	0.05	0.05			0.1(*) 米国	【<0.05,<0.05,<0.05(¥)(米国)】
チコリ		0.05				
エンダイブ		0.05				
しゅんぎく		0.05				
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	4	0.2	○	4		
その他のきく科野菜	0.1	0.05	○			<0.02,<0.02(¥)(食用ぎく)
たまねぎ	0.05	0.2	○	0.05		
ねぎ(リーキを含む。)	0.4	0.2	○	0.4		
にんにく	0.05	0.2	○	0.05		
にら	0.05	0.05	○			<0.01,0.01(¥)
アスパラガス	0.1	0.05	○	0.1		
わけぎ	0.4	0.05		0.4		
その他のゆり科野菜	0.4	0.05	○	0.4		

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
にんじん	0.5	0.2	○	0.5		
パセリ	0.2	0.2	○			0.02,0.03(¥)
セロリ	0.09			0.09		
その他のせり科野菜	0.2	0.2	○			【EUかぶ類の根参照】
トマト	0.05	0.05			0.1(*) 米国	【<0.05(n=6)(米国)】
なす	0.05	0.05			0.1(*) 米国	【米国non-bell pepper(<0.05,<0.05(#))】(**)
その他のなす科野菜	0.05	0.05			0.1(*) 米国	【米国non-bell pepper参照】(**)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.1	0.1	○			<0.01,0.02(¥)
すいか(果皮を含む。)	0.05		IT		0.10(*) 米国	【米国カンタロープ(<0.05(n=9))】
メロン類果実(果皮を含む。)	0.05		IT		0.10(*) 米国	【米国カンタロープ参照】
しょうが	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
未成熟えんどう	0.05	0.05		0.05		
未成熟いんげん	0.05	0.05		0.05		
えだまめ	0.02	0.2	○			<0.005,<0.005(#)(¥)
その他の野菜	0.05	0.1	○	0.05		
みかん		0.05				
みかん(外果皮を含む。)	0.03			0.03		
なつみかんの果実全体	0.03	0.05		0.03		
レモン	0.03	0.05		0.03		
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.03	0.05		0.03		
グレープフルーツ	0.03	0.05		0.03		
ライム	0.03	0.05		0.03		
その他のかんきつ類果実	0.03	0.05		0.03		
りんご	0.05	0.1	○		0.1(*) 米国	【<0.05(#)(n=10)(米国)】
日本なし	0.05	0.1	○		0.1(*) 米国	【米国西洋なし(<0.05(n=3))】
西洋なし	0.05	0.1	○		0.1(*) 米国	【米国西洋なし参照】
マルメロ	0.05	0.05			0.1(*) 米国	【米国りんご、西洋なし参照】
びわ		0.05				
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	0.05				0.1(*) 米国	【米国りんご、西洋なし参照】
もも		0.05				
もも(果皮及び種子を含む。)	0.05				0.1(*) 米国	【米国もも(<0.05(#)(n=6))、プラム(<0.05(#)(n=6))、チェリー(<0.05(n=6))】
ネクタリン	0.05	0.05			0.1(*) 米国	【米国もも、プラム、チェリー参照】
あんず(アプリコットを含む。)	0.05	0.05			0.1(*) 米国	【米国もも、プラム、チェリー参照】
すもも(ブルーンを含む。)	0.05	0.05			0.1(*) 米国	【米国もも、プラム、チェリー参照】
うめ	0.05	0.05			0.1(*) 米国	【米国もも、プラム、チェリー参照】
おうとう(チェリーを含む。)	0.05	0.05			0.1(*) 米国	【米国もも、プラム、チェリー参照】
いちご	0.05	0.05			0.1(*) 米国	【<0.05(n=8)(米国)】
ラズベリー	0.05	0.05			0.10(*) 米国	【米国ケインベリー(<0.05(n=6))】
ブラックベリー	0.05	0.05			0.10(*) 米国	【米国ケインベリー参照】
ブルーベリー	0.05	0.05			0.10(*) 米国	【<0.05(n=6)(米国)】
クランベリー	0.05	0.05			0.10(*) 米国	【米国ブルーベリー参照】
ハックルベリー	0.05	0.05			0.10(*) 米国	【米国ブルーベリー参照】
その他のベリー類果実	0.05	0.05			0.10(*) 米国	【米国ケインベリー参照】
ぶどう	0.05	0.1	○		0.1(*) 米国	【<0.05(n=9)(米国)】
かき		0.05				

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
バナナ	0.02	0.05				【<0.005,<0.005(#)(¥)(豪州)】
キウイ		0.05				
キウイ(果皮を含む。)	0.02					【<0.02,<0.02,<0.02(#)(米国)】
パパイヤ	0.05	0.05			0.05 豪州	【豪州マンゴー(<0.02,<0.02)(#)】
アボカド	0.05	0.05			0.05 豪州	【豪州マンゴー参照】
パイナップル	0.05	0.05			0.05 豪州	【豪州マンゴー参照】
グアバ	0.05	0.05			0.05 豪州	【豪州マンゴー参照】
マンゴー	0.05	0.05			0.05 豪州	【豪州マンゴー参照】
パッションフルーツ	0.05	0.05			0.05 豪州	【豪州マンゴー参照】
なつめやし	0.05	0.05			0.05 豪州	【豪州マンゴー参照】
ひまわりの種子	0.05	0.1			0.05 EU	【(<0.05(n=4)(EU)】
ごまの種子	0.05	0.05			0.05 EU	【EUひまわりの種子参照】
べにばなの種子	0.05	0.05			0.05 EU	【EUひまわりの種子参照】
綿実	0.05	0.1			0.1(*) 米国	【<0.05(n=5)(米国)】
なたね	0.05	0.05				【<0.05(#)(n=6)(カナダ)】
その他のオイルシード	0.05	0.05			0.05 EU	【EUひまわりの種子参照】
ぎんなん	0.05	0.05		0.05		
くり	0.05	0.05		0.05		
ペカン	0.05	0.05		0.05		
アーモンド	0.05	0.05		0.05		
くるみ	0.05	0.05		0.05		
その他のナッツ類	0.05	0.05		0.05		
ホップ	0.05			0.05		
その他のスパイス	0.05		申			0.01,0.01(¥)(甘草)
その他のハーブ	0.3			0.3		
牛の筋肉	0.2		申	0.2		
豚の筋肉	0.2		申	0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.2		申	0.2		
牛の脂肪	0.3		申	0.2		推:0.23
豚の脂肪	0.3		申	0.2		(牛の脂肪参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3		申	0.2		(牛の脂肪参照)
牛の肝臓	0.05		申	0.05		
豚の肝臓	0.05		申	0.05		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.05		申	0.05		
牛の腎臓	0.05		申	0.05		
豚の腎臓	0.05		申	0.05		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.05		申	0.05		
牛の食用部分	0.05		申	0.05		
豚の食用部分	0.05		申	0.05		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.05		申	0.05		
乳	0.03		申	0.02		推:0.03
鶏の筋肉	0.01		申	0.01		
その他の家きんの筋肉	0.01		申	0.01		
鶏の脂肪	0.01		申	0.01		
その他の家きんの脂肪	0.01		申	0.01		
鶏の肝臓	0.01		申	0.01		
その他の家きんの肝臓	0.01		申	0.01		
鶏の腎臓	0.01		申	0.01		
その他の家きんの腎臓	0.01		申	0.01		

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
鶏の食用部分	0.01		申	0.01		
その他の家きんの食用部分	0.01		申	0.01		
鶏の卵	0.01		申	0.01		
その他の家きんの卵	0.01		申	0.01		
魚介類	0.3	0.3				推:0.28
ミネラルウォーター類	0.02	0.02				※1

申請(国内における登録、承認等の申請、インポートライセンス申請)以外の理由により本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

食品区分を別途新設すること等に伴い、食品区分を削除したものについては、斜線で示した。

「登録有無」の欄に「○」の記載があるものは、国内で農薬等としての使用が認められていることを示している。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

「登録有無」の欄に「IT」の記載があるものは、インポートライセンス申請に基づく基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。

(¥)作物残留試験結果の最大値を基準値設定の根拠とした。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留濃度であることを示している。

※1) WHO飲料水水質ガイドラインのガイドライン値に基づき設定。ガイドライン値とは、WHOにおいて各国の規制当局と給水サービス提供者による飲料水水質の維持・向上を目的に設定されるWHO飲料水水質ガイドラインにおいて、飲料水水質を評価するための基礎となる数値であり、生涯にわたって摂取した場合、摂取者の健康に重大なリスクを起こさない濃度を示す。

(*)米国では、規制対象をペンディメタリン及び代謝物Pの和としている。

(**)米国との規制対象の違いを考慮し、現行の基準値を維持する。

ペンディメタリンの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (単位: µg/kg/day)						妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
			国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	幼小児 (1～6歳) EDI						
米（玄米をいう。）	0.02	0.005	3.3	0.8	1.7	0.4	2.1	0.5	3.6	0.9		
小麦	0.05	0.01	3.0	0.6	2.2	0.4	3.5	0.7	2.5	0.5		
大麦	0.2	0.05	1.1	0.3	0.9	0.2	1.8	0.4	0.9	0.2		
ライ麦	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0		
とうもろこし	0.05	0.01	0.2	0.0	0.3	0.1	0.3	0.1	0.2	0.0		
そば	0.1	0.015	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0		
その他の穀類	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
大豆	0.05	0.05	2.0	2.0	1.0	1.0	1.6	1.6	2.3	2.3		
小豆類	0.05	0.05	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2		
えんどう	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
そら豆	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
らっかせい	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0		
その他の豆類	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
ばれいしょ	0.05	0.05	1.9	1.9	1.7	1.7	2.1	2.1	1.8	1.8		
さといも類（やつがしらを含む。）	0.01	0.01	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1		
かんしょ	0.05	0.01	0.3	0.1	0.3	0.1	0.6	0.1	0.5	0.1		
やまいも（長いもをいう。）	0.05	0.01	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0		
こんにゃくも	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
てんさい	0.05	0.05	1.6	1.6	1.4	1.4	2.1	2.1	1.7	1.7		
さとうきび	0.05	0.05	4.9	4.9	4.2	4.2	6.2	6.2	5.0	5.0		
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	0.3	0.05	0.5	0.1	0.2	0.0	0.9	0.2	0.8	0.1		
かぶ類の根	0.2	0.028	0.6	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	1.0	0.1		
かぶ類の葉	0.3	0.05	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0		
クレソン	0.3	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
はくさい	0.3	0.05	5.3	0.9	1.5	0.3	5.0	0.8	6.5	1.1		
キャベツ	0.05	0.05	1.2	1.2	0.6	0.6	1.0	1.0	1.2	1.2		
芽キャベツ	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
ケール	0.5	0.05	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0		
こまつな	0.3	0.05	1.5	0.3	0.5	0.1	1.9	0.3	1.9	0.3		
きょうな	0.3	0.05	0.7	0.1	0.1	0.0	0.4	0.1	0.8	0.1		
チンゲンサイ	0.3	0.05	0.5	0.1	0.2	0.0	0.5	0.1	0.6	0.1		
かりブラウニ	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
ブロッコリ	0.05	0.05	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3		
その他のあぶらな科野菜	0.3	0.05	1.0	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	1.4	0.2		
アーティチョーク	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
レタス（サラダ菜及びちしさを含む。）	4	0.062	38.4	0.6	17.6	0.3	45.6	0.7	36.8	0.6		
その他のさく科野菜	0.1	0.02	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1		
たまねぎ	0.05	0	1.6	0.0	1.1	0.0	1.8	0.0	1.4	0.0		
ねぎ（リーギを含む。）	0.4	0.095	3.8	0.9	1.5	0.4	2.7	0.6	4.3	1.0		
にんにく	0.05	0.0001	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0		
にら	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0		
アスパラガス	0.1	0.05	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1		
わけぎ	0.4	0.095	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0		
その他のゆり科野菜	0.4	0.095	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.5	0.1		
にんじん	0.5	0.0625	9.4	1.2	7.1	0.9	11.3	1.4	9.4	1.2		
パセリ	0.2	0.025	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
セロリ	0.09	0.02	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0		
その他のせり科野菜	0.2	0.028	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0		
トマト	0.05	0.05	1.6	1.6	1.0	1.0	1.6	1.6	1.8	1.8		
なす	0.05	0.05	0.6	0.6	0.1	0.1	0.5	0.5	0.9	0.9		
その他のなす科野菜	0.05	0.05	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0		
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.1	0.015	0.9	0.1	0.4	0.1	0.8	0.1	1.3	0.2		
すいか（果皮を含む。）	0.05	0.05	0.4	0.4	0.3	0.3	0.7	0.7	0.6	0.6		
メロン類果実（果皮を含む。）	0.05	0.05	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2		
しょうが	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0		
未成熟えんどう	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0		
未成熟いんげん	0.05	0.01	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0		
えだまめ	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0		
その他の野菜	0.05	0.01	0.7	0.1	0.3	0.1	0.5	0.1	0.7	0.1		
みかん（外果皮を含む。）	0.03	0.005	0.5	0.1	0.5	0.1	0.0	0.0	0.8	0.1		
なつみかんの果実全体	0.03	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0		
レモン	0.03	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	0.03	0.005	0.2	0.0	0.4	0.1	0.4	0.1	0.1	0.0		
グレープフルーツ	0.03	0.005	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.1	0.0		
ライム	0.03	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他のかんきつ類果実	0.03	0.005	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0		
りんご	0.05	0.05	1.2	1.2	1.5	1.5	0.9	0.9	1.6	1.6		
日本なし	0.05	0.05	0.3	0.3	0.2	0.2	0.5	0.5	0.4	0.4		
西洋なし	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
マルメロ	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0		
もも（果皮及び種子を含む。）	0.05	0.05	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2		
ネクタリン	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
あんず（アブリコットを含む。）	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
すもも（ブルーンを含む。）	0.05	0.05	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1		
うめ	0.05	0.05	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1		
おうとう（チェリーを含む。）	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

ペンディメタリンの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
いちご	0.05	0.05	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
ラズベリー	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ブラックベリー	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ブルーベリー	0.05	0.05	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
クランベリー	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ハuckleベリー	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のベリー類果実	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ぶどう	0.05	0.05	0.4	0.4	0.4	0.4	1.0	1.0	0.5	0.5
バナナ	0.02	0.005	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.4	0.1
キウイ (果皮を含む)	0.02	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
パパイア	0.05	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アボカド	0.05	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パイナップル	0.05	0.02	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
グアバ	0.05	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴ	0.05	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パッションフルーツ	0.05	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
なつめやし	0.05	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ひまわりの種子	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ごまの種子	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
べにばなの種子	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
蕎麦	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	0.05	0.05	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2
その他のオイルシード	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
きんなん	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ポップ	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のスパイス	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のハーブ	0.3	0.05	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1
陸棲哺乳類の肉類	0.3	筋肉 0.03 脂肪 0.05	17.3	2.0	12.9	1.5	19.3	2.2	12.3	1.4
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.05	0.03	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0
陸棲哺乳類の乳類	0.03	0.006	7.9	1.6	10.0	2.0	10.9	2.2	6.5	1.3
家さんの肉類	0.01	0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
家さんの卵類	0.01	0	0.4	0.0	0.3	0.0	0.5	0.0	0.4	0.0
魚介類	0.3	0.0868	27.9	8.1	11.9	3.4	16.0	4.6	34.4	10.0
計			148.3	37.0	87.7	24.5	149.5	36.0	153.1	40.6
ADI比 (%)			2.2	0.6	4.4	1.2	2.1	0.5	2.3	0.6

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算法: 基準値案×各食品の平均摂取量

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

「魚介類」については、摂取する魚介類を内水面 (湖や河川) 魚介類、海産魚介類及び遠洋魚介類に分け、それぞれ海産魚介類での推定残留濃度を内水面魚介類の1/5、遠洋魚介類での推定残留濃度を0として算出した係数 (0.31) を推定残留濃度に乘じた値を用いてEDI試算した。

「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI試算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉、脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。また、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

ペンディメタリンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARfD (%)
米（玄米）	米	0.02	○ 0.005	0.0	0
小麦	小麦	0.05	○ 0.01	0.0	0
大麦	大麦	0.2	○ 0.05	0.0	0
	麦茶	0.2	○ 0.05	0.0	0
とうもろこし	スイートコーン	0.05	0.05	0.6	0
そば	そば	0.1	○ 0.015	0.0	0
大豆	大豆	0.05	○ 0.05	0.0	0
小豆類	いんげん	0.05	○ 0.05	0.1	0
らっかせい	らっかせい	0.05	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.05	0.5	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.01	0.01	0.1	0
かんしょ	かんしょ	0.05	0.05	0.6	0
やまいも（長いものをいう。）	やまいも	0.05	0.05	0.4	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	0.3	○ 0.11	0.9	0
かぶ類の根	かぶの根	0.2	0.2	1.5	0
かぶ類の葉	かぶの葉	0.3	○ 0.11	0.3	0
はくさい	はくさい	0.3	○ 0.11	1.4	0
キャベツ	キャベツ	0.05	○ 0.05	0.5	0
ケール	ケール	0.5	○ 0.25	2.0	0
こまつな	こまつな	0.3	○ 0.11	0.5	0
きょうな	きょうな	0.3	○ 0.11	0.4	0
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.3	○ 0.11	0.8	0
カリフラワー	カリフラワー	0.05	○ 0.05	0.4	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.05	○ 0.05	0.3	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	0.3	○ 0.11	0.9	0
	菜花	0.3	○ 0.11	0.3	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	4	○ 2.2	12.4	1
たまねぎ	たまねぎ	0.05	○ 0	0.0	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.4	○ 0.12	0.5	0
にんにく	にんにく	0.05	○ 0	0.0	0
にら	にら	0.05	0.05	0.1	0
アスパラガス	アスパラガス	0.1	○ 0.062	0.1	0
わけぎ	わけぎ	0.4	○ 0.12	0.2	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	0.4	○ 0.12	0.2	0
	らっきょう	0.4	○ 0.12	0.1	0
にんじん	にんじん	0.5	○ 0.38	1.7	0
	にんじんジュース	0.5	○ 0.024	0.2	0
パセリ	パセリ（生）	0.2	0.2	0.0	0
	パセリ（乾燥）	0.2	○ 0.025	0.0	0
セロリ	セロリ	0.09	○ 0.05	0.3	0
その他のせり科野菜	せり	0.2	0.2	0.3	0
トマト	トマト	0.05	○ 0.05	0.5	0
なす	なす	0.05	0.05	0.3	0
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	0.05	0.05	0.1	0
	ししとう	0.05	0.05	0.1	0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.1	0.1	1.0	0
	ズッキーニ	0.1	0.1	0.7	0
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.05	○ 0.05	1.6	0
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	0.05	○ 0.05	0.8	0
しょうが	しょうが	0.05	0.05	0.0	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.05	○ 0.014	0.0	0
	未成熟えんどう（豆）	0.05	○ 0.014	0.0	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.05	○ 0.014	0.0	0
えだまめ	えだまめ	0.02	0.02	0.1	0
その他の野菜	ずいき	0.05	○ 0.014	0.1	0
	もやし	0.05	○ 0.014	0.0	0
	れんこん	0.05	○ 0.014	0.1	0
	そら豆（生）	0.05	○ 0.014	0.0	0
みかん（外果皮を含む。）	みかん	0.03	○ 0.019	0.2	0
なつみかんの果実全体	なつみかん	0.03	○ 0.019	0.2	0
レモン	レモン	0.03	○ 0.019	0.0	0
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	0.03	○ 0.019	0.2	0
	オレンジ果汁	0.03	○ 0.0007	0.0	0

ペンディメタリンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARfD (%)
グレープフルーツ	グレープフルーツ	0.03	○ 0.019	0.3	0
その他のかんきつ類果実	きんかん	0.03	○ 0.019	0.0	0
	ぼんかん	0.03	○ 0.019	0.2	0
	ゆず	0.03	○ 0.019	0.0	0
	すだち	0.03	○ 0.019	0.0	0
	りんご	0.05	○ 0.05	0.7	0
りんご	りんご果汁	0.05	○ 0.05	0.5	0
日本なし	日本なし	0.05	○ 0.05	0.8	0
西洋なし	西洋なし	0.05	○ 0.05	0.7	0
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	びわ	0.05	○ 0.05	0.4	0
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	0.05	○ 0.05	0.7	0
すもも（ブルーンを含む。）	ブルーン	0.05	○ 0.05	0.3	0
うめ	うめ	0.05	○ 0.05	0.1	0
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	0.05	○ 0.05	0.1	0
いちご	いちご	0.05	○ 0.05	0.2	0
ブルーベリー	ブルーベリー	0.05	○ 0.05	0.1	0
ぶどう	ぶどう	0.05	○ 0.05	0.7	0
バナナ	バナナ	0.02	○ 0.02	0.2	0
キウイ（果皮を含む。）	キウイ	0.02	○ 0.02	0.1	0
アボカド	アボカド	0.05	○ 0.05	0.4	0
パイナップル	パイナップル	0.05	○ 0.05	0.7	0
マンゴー	マンゴー	0.05	○ 0.05	0.7	0
ごまの種子	ごまの種子	0.05	○ 0.05	0.0	0
ぎんなん	ぎんなん	0.05	○ 0.05	0.0	0
くり	くり	0.05	○ 0.05	0.1	0
アーモンド	アーモンド	0.05	○ 0.05	0.0	0
くるみ	くるみ	0.05	○ 0.05	0.0	0
ホップ	ホップ	0.05	○ 0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

ペンディメタリンの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
米（玄米）	米	0.02	○ 0.005	0.1	0
小麦	小麦	0.05	○ 0.01	0.0	0
大麦	大麦	0.2	○ 0.05	0.0	0
	麦茶	0.2	○ 0.05	0.1	0
とうもろこし	スイートコーン	0.05	0.05	1.2	0
大豆	大豆	0.05	○ 0.05	0.1	0
らっかせい	らっかせい	0.05	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.05	1.1	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.01	0.01	0.1	0
かんしょ	かんしょ	0.05	0.05	1.3	0
やまいも（長いものをいう。）	やまいも	0.05	0.05	0.7	0
はくさい	はくさい	0.3	○ 0.11	1.7	0
キャベツ	キャベツ	0.05	○ 0.05	0.8	0
こまつな	こまつな	0.3	○ 0.11	1.0	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.05	○ 0.05	0.7	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	4	○ 2.2	21.6	2
たまねぎ	たまねぎ	0.05	○ 0	0.0	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.4	○ 0.12	0.8	0
にんにく	にんにく	0.05	○ 0	0.0	0
にら	にら	0.05	0.05	0.1	0
にんじん	にんじん	0.5	○ 0.38	3.9	0
パセリ	パセリ（生）	0.2	0.2	0.0	0
トマト	トマト	0.05	○ 0.05	1.4	0
なす	なす	0.05	0.05	0.8	0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.1	0.1	1.6	0
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.05	○ 0.05	4.3	0
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	0.05	○ 0.05	1.5	0
しょうが	しょうが	0.05	0.05	0.1	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.05	○ 0.014	0.0	0
	未成熟えんどう（豆）	0.05	○ 0.014	0.0	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.05	○ 0.014	0.1	0
えだまめ	えだまめ	0.02	0.02	0.1	0
その他の野菜	もやし	0.05	○ 0.014	0.1	0
	れんこん	0.05	○ 0.014	0.1	0
みかん（外果皮を含む。）	みかん	0.03	○ 0.019	0.5	0
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	0.03	○ 0.019	0.5	0
	オレンジ果汁	0.03	○ 0.0007	0.0	0
りんご	りんご	0.05	○ 0.05	1.6	0
	りんご果汁	0.05	○ 0.05	1.7	0
日本なし	日本なし	0.05	○ 0.05	1.4	0
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	0.05	○ 0.05	2.1	0
うめ	うめ	0.05	○ 0.05	0.2	0
いちご	いちご	0.05	○ 0.05	0.5	0
ぶどう	ぶどう	0.05	○ 0.05	1.5	0
バナナ	バナナ	0.02	0.02	0.8	0
パイナップル	パイナップル	0.05	0.05	1.6	0
ごまの種子	ごまの種子	0.05	○ 0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

(参考)

これまでの経緯

平成17年	11月	29日	残留農薬基準告示
平成20年	3月	25日	農林水産省から厚生労働省へ基準設定依頼（魚介類）
平成20年	6月	2日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成22年	2月	9日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：かぼちゃ及びパセリ）
平成22年	10月	7日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成23年	4月	19日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成23年	12月	27日	残留農薬基準告示
平成23年	11月	1日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：そば及びしょうが）
平成24年	1月	19日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成24年	8月	6日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成24年	11月	27日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成25年	7月	2日	残留農薬基準告示
令和2年	1月	31日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：甘草）
令和2年	5月	28日	インポートトレランス申請（すいか及びメロン類果実）
令和2年	10月	19日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和3年	4月	13日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和3年	7月	1日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和3年	10月	22日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

○ 穂山	浩	学校法人星薬科大学薬学部薬品分析化学研究室教授
石井	里枝	埼玉県衛生研究所副所長（兼）食品微生物検査室長
井之上	浩一	学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室教授
大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所化学部長
折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部生理学教授
加藤	くみ子	学校法人北里研究所北里大学薬学部分析化学教室教授
魏	民	公立大学法人大阪大阪市立大学大学院医学研究科 環境リスク評価学准教授
佐藤	洋	国立大学法人岩手大学農学部共同獣医学科比較薬理毒性学研究室教授
佐野	元彦	国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵	雅之	学校法人東京農業大学応用生物科学部農芸化学科 生物有機化学研究室准教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部長
中島	美紀	国立大学法人金沢大学ナノ生命科学研究所 薬物代謝安全性学研究室教授
永山	敏廣	学校法人明治薬科大学薬学部特任教授
根本	了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会信頼性保証室付技術顧問
二村	睦子	日本生活協同組合連合会常務理事

(○：部会長)

答申（案）

ペンディメタリン

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	0.02
小麦	0.05
大麦	0.2
ライ麦	0.1
とうもろこし	0.05
そば	0.1
その他の穀類 ^{注1)}	0.05
大豆	0.05
小豆類 ^{注2)}	0.05
えんどう	0.05
そら豆	0.05
らっかせい	0.05
その他の豆類 ^{注3)}	0.05
ばれいしょ	0.05
さといも類（やつがしらを含む。）	0.01
かんしょ	0.05
やまいも（長いものをいう。）	0.05
こんにゃくいも	0.02
てんさい	0.05
さとうきび	0.05
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	0.3
かぶ類の根	0.2
かぶ類の葉	0.3
クレソン	0.3
はくさい	0.3
キャベツ	0.05
芽キャベツ	0.05
ケール	0.5
こまつな	0.3
きょうな	0.3
チンゲンサイ	0.3
カリフラワー	0.05
ブロッコリー	0.05
その他のあぶらな科野菜 ^{注4)}	0.3
アーティチョーク	0.05
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	4
その他のきく科野菜 ^{注5)}	0.1
たまねぎ	0.05
ねぎ（リーキを含む。）	0.4
にんにく	0.05
にら	0.05
アスパラガス	0.1

食品名	残留基準値 ppm
わけぎ	0.4
その他のゆり科野菜 ^{注6)}	0.4
にんじん	0.5
パセリ	0.2
セロリ	0.09
その他のせり科野菜 ^{注7)}	0.2
トマト	0.05
なす	0.05
その他のなす科野菜 ^{注8)}	0.05
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.1
すいか（果皮を含む。）	0.05
メロン類果実（果皮を含む。）	0.05
しょうが	0.05
未成熟えんどう	0.05
未成熟いんげん	0.05
えだまめ	0.02
その他の野菜 ^{注9)}	0.05
みかん（外果皮を含む。）	0.03
なつみかんの果実全体	0.03
レモン	0.03
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	0.03
グレープフルーツ	0.03
ライム	0.03
その他のかんきつ類果実 ^{注10)}	0.03
りんご	0.05
日本なし	0.05
西洋なし	0.05
マルメロ	0.05
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	0.05
もも（果皮及び種子を含む。）	0.05
ネクタリン	0.05
あんず（アプリコットを含む。）	0.05
すもも（プルーンを含む。）	0.05
うめ	0.05
おうとう（チェリーを含む。）	0.05
いちご	0.05
ラズベリー	0.05
ブラックベリー	0.05
ブルーベリー	0.05
クランベリー	0.05
ハックルベリー	0.05
その他のベリー類果実 ^{注11)}	0.05
ぶどう	0.05
バナナ	0.02

食品名	残留基準値 ppm
キウイー（果皮を含む。）	0.02
パパイヤ	0.05
アボカド	0.05
パイナップル	0.05
グアバ	0.05
マンゴー	0.05
パッションフルーツ	0.05
なつめやし	0.05
ひまわりの種子	0.05
ごまの種子	0.05
べにばなの種子	0.05
綿実	0.05
なたね	0.05
その他のオイルシード ^{注12)}	0.05
ぎんなん	0.05
くり	0.05
ペカン	0.05
アーモンド	0.05
くるみ	0.05
その他のナッツ類 ^{注13)}	0.05
ホップ	0.05
その他のスパイス ^{注14)}	0.05
その他のハーブ ^{注15)}	0.3
牛の筋肉	0.2
豚の筋肉	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注16)} の筋肉	0.2
牛の脂肪	0.3
豚の脂肪	0.3
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3
牛の肝臓	0.05
豚の肝臓	0.05
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.05
牛の腎臓	0.05
豚の腎臓	0.05
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.05
牛の食用部分 ^{注17)}	0.05
豚の食用部分	0.05
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.05
乳	0.03
鶏の筋肉	0.01
その他の家きん ^{注18)} の筋肉	0.01
鶏の脂肪	0.01
その他の家きんの脂肪	0.01

食品名	残留基準値 ppm
鶏の肝臓	0.01
その他の家きんの肝臓	0.01
鶏の腎臓	0.01
その他の家きんの腎臓	0.01
鶏の食用部分	0.01
その他の家きんの食用部分	0.01
鶏の卵	0.01
その他の家きんの卵	0.01
魚介類	0.3
ミネラルウォーター類	0.02

注1) 「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注5) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注6) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注7) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注9) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注10) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注11) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注12) 「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。

注13) 「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注14) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注15) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注16) 「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注17) 「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注18) 「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。